

外国人と日本人とが、ともに豊かに生きる地域社会を!

ハロー フレンズ

ファイセック

FICEC

発行

ふじみの国際交流センター
Fujimino International Cultural Exchange Center

2011年 12月号 (隔月刊) 第117号

Let's enjoy 国際交流

日本人も外国人も一緒に地域づくり

日本人と外国人が地域活動に協力することで地域住民をはじめとして様々な人に外国人の存在を知ってもらい、お互いの存在価値に気付くことを願い、この事業を企画しました(埼玉県国際課委託「外国人地域活動デビュー」支援事業として実施しています)。

第1回 上福岡駅前のごみをなくそう

外国人地域デビューの第一弾として9月30日に上福岡駅前広場の清掃活動を行いました。外国の方はお子さんを含め16名、初参加の2名の日本人とスタッフで総勢29名での清掃とピラ配りでした。皆の熱心なゴミ拾いで一帯は短時間で綺麗に。その後の交流会では温かいサモサを食しながら、ユニークな自己紹介で一人ひとりが全員の名前を覚えることも出

来、楽しく有意義な交流となりました。

ピラ配りの最中、外国人に対する印象が悪く、寛容な態度をとれない日本人がいる事も否めない事実と再発見しました。互いに理解し合い地域に根ざせる様になるには、外国人の方にも今回のような小さな一歩の積み重ねから、勇気を持って現実の地域社会に積極的に参加して欲しいと思います。(奈良晴江)



第2回 「交通ルール」ちゃんと知っていますか！

10月25日（火曜日）10時より交通安全教室（埼玉県東入間警察署刑事課・交通課協力）が開催されました。7ヶ国23名の講習生が東原親水公園で自転車乗車体験、そのあと事務所3階でDVDを見ながら自転車に乗るときの注意点や、交通事故の恐ろしさについての講義を受け交通ルールをしっかりと勉強しました。

自転車に乗るときの注意点として、「1．自分自身の目で安全確認」「2．確実に左右安全確認」「3．危険の察知及び危険の回避行動」

近年埼玉県内でも自転車事故が増加傾向にあります。交通ルールを厳密に遵守しなければ自転車事故を減りません。一旦事故が起これば被害者のみならず加害者も悲惨な日々を送ることになります。外国人が真剣に抗議を



受けた後、質疑応答、そして立食形式のランチをごちそうになりました。

東入間警察署刑事課金子さん、交通課堀口さん、根米さん貴重な講義ありがとうございました。（西川力蔵）

参加外国人の感想

中国出身の崔さん

僕は、今高校受験を控えて、毎日ふじみの国際交流センターで勉強をしています。

いつも、勉強を教えてもらっているので、お返しこのイベントに参加しました。小さな男の子が参加していたので、一緒にゴミを拾ったり、交流会では、高校受験の対策について、日本に長く住んでいる台湾の人にアドバイスをもらいました。とても、楽しかったし、少しでも役にたててうれしかったです。

中国出身の舒暢さん

この地域にどんな外国人がいるか興味があり、交流を通じてたくさんの外国人と出会えるきっかけになるのではないかとということと、町づくりの一環として、小さな力になればと考え、参加することにしました。期待通り、たくさんの国の人たちと交流することができ、とても楽しかったです。

また「自分ができる事をやる」ということが、とても大切だと考えるようになりました。

今後もこういう素敵なイベントがあれば、どんどん参加していきたいと思っています。

スリランカ出身のランさん

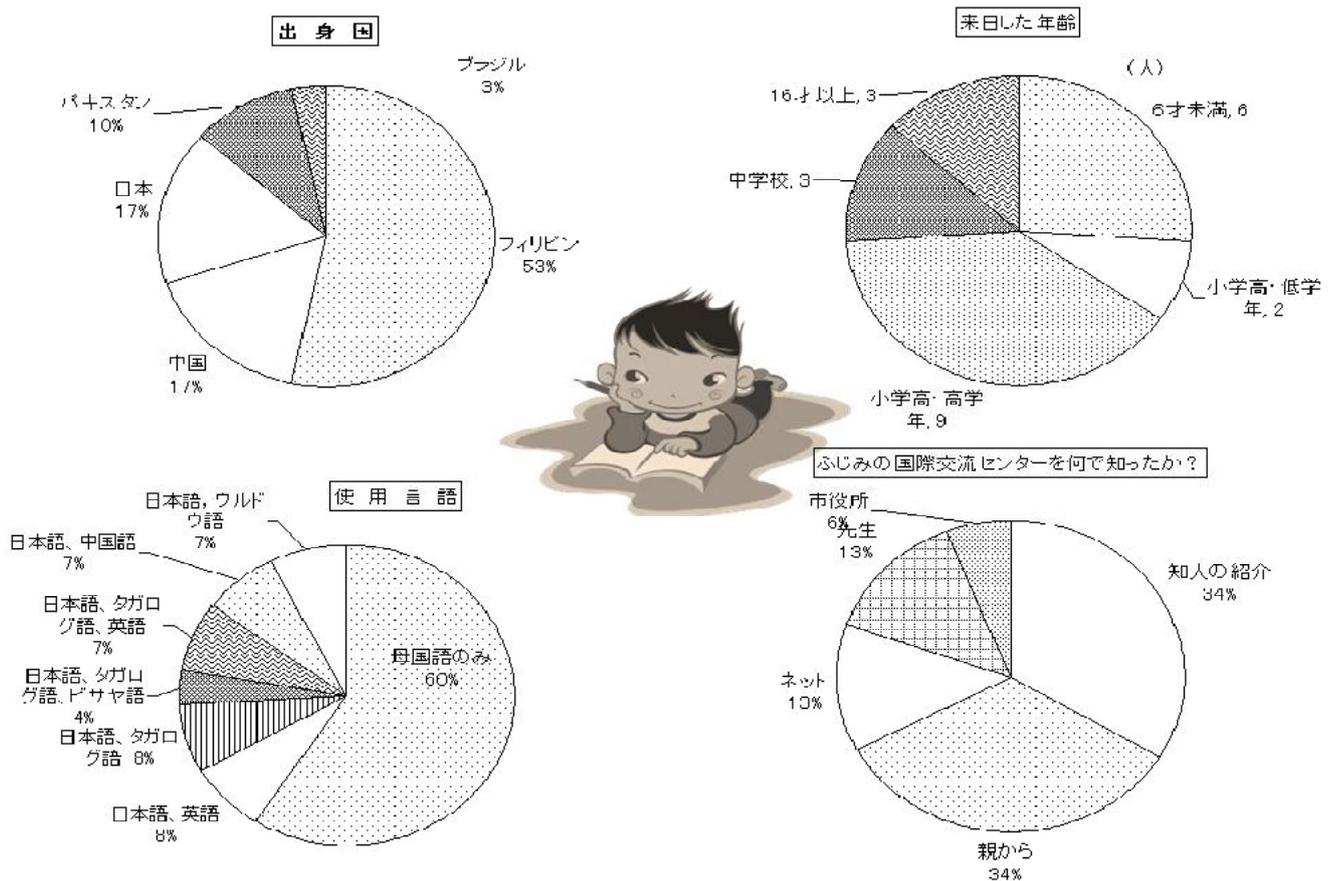
「自転車の乗り方」のイベントはとても楽しかったです。このようなイベントに初めて参加しましたが、勉強になっただけでなく、とても役に立ちました。この日警察官から自転車の乗り方に関する様々なことを学ぶことができました。また、実習も楽しかったです。私は自転車を持っていないのですが、自転車がほしくなりました。

私はこれまで、自転車には免許が必要ないため、自転車の乗り方は大した問題はないと思っていましたが自転車を正しく乗ることがとても大切だということが理解できました。

みんなで食べたランチはとても楽しく、新しい友達もできました。このような素晴らしいイベントを企画してくれたFICECに感謝します。

国際子供クラブでの学習者の分析

ふじみの国際交流センターの活動のひとつ、子供クラブでは毎週土曜日 様々な年齢・国籍のこどもが勉強をしています。2010年4月から現在に至るまでの、センターで学習した子供の分析です。



一番、問題となるのは「来日した年齢」です。6歳未満で来日し日本のこどもたちと同時に小学一年生として入学した場合は、ひらがな・カタカナをいちから学ぶため日本語の習得がとても早く、他の教科もスムーズに入っていきます。しかし学齢が上がれば上がるほど難しくなります。それでも、学校や先生・友達関係が良好なら、日本語上達も早く日本の生活に徐々に慣れていくことができます。

最近では母親が日本人の男性と再婚し母国に預けていた実子呼び寄せするというケースが多くあります。その際、日本の中学校に転入できない16才以上での来日は高校受験というとても高いハードルがあります。日本にある「日本語学校」は高校卒業という条件があり入学できません。中学も高校も日本語学

校にもいけないこどもたち、どこにも居場所がありません。母国で成績優秀だとしても日本語がわからないというだけで進学・就職の選択肢が狭まり本人の努力だけでは日本社会で自立していくのは大変難しいのが現状です。行政をはじめ社会全体で支援していく必要性を感じます。

センターでは毎年高校受験生が数名平日も勉強に来ています。特に専門教科(数学・理科・社会)を教えることができるボランティアが不足しています。もし力になってくださる方がいらっしゃったらセンターまでご連絡ください。外国籍のこどもたちが日本で幸せな生活が送れるよう一緒に応援していきましょう！

外国人はどこで働いているのか? その3

藤林 美穂

源泉徴収票を下さい!

しっかり者のフィリピン人女性、Jさんは日本人の夫と離婚後、女手ひとつで息子を育て上げて、最近その自慢の息子が結婚しました。彼女は今はホテルの清掃・ベッドメイキングの仕事をしていて、「この職場は源泉徴収票を出してくれるから本当に助かる」としみじみ言っていました。

なぜ源泉徴収票が大事かという点、入国管理局でのビザの更新手続きなどで、税金を納めているかどうか、がチェックされるからです。かつては在留資格の更新や変更のときに源泉徴収票のコピーを入管に提出する必要がありました。最近市役所の納税・課税証明書と、職場の在職証明書を出せばいいことになっています。でも、税金の手続きを会社でやってくれず、自分で確定申告してね、という会社もあるので、その場合はやはり源泉徴収票が必要になります。確定申告なんて日本人でも面倒なのに、外国人にとっては大変な手続きだと思います。

Jさんの言葉を忘れられないのは、今の職場は源泉徴収票を出してくれるからよかった、...ということは前の職場では出してくれなかったんだ、と思ったからです。源泉徴収票を出してくれないところも結構あるのです。おそらく税務署や社会保険事務所に外国人が働いていることを申告していないのでしょう。給与明細や在職証明書すら出してくれないところもあります。そのしわ寄せは外国人にきて、在留資格の更新や変更のときに困ることになります。日本人と結婚してい

ることで在留資格をもらっている人の場合は「専業主婦」ということでもいいのですが、冒頭のJさんのように離婚後1人で子どもを育てている人にとっては、自分で働いて生活を支えている、ということを書類で見せなければならぬからです。

源泉徴収票を出してくれない困った会社については、労働者は労働基準局に訴えることができます。しかし、ただでさえ立場の弱い外国人労働者が労働基準局に訴えた場合、雇用主の逆恨みで職を失う危険性もあります(これは日本人労働者の場合でも同じことかも知れませんが...)。

働いている外国人にとっては、日本の税金の仕組みはブラックボックス状態で全くよくわからないし、行政も外国籍住民に対して必ずしもきちんと説明しているとは言えません。でも、日本での暮らしが長い人たちは経験的に「源泉徴収票がないとまずい」ということはわかっていて、日本語があまりうまくなくても「ゲンセンチョウシュウヒョウ」というややこしい発音の言葉だけは知っている人がけっこういるのです。

筆者紹介

行政書士(ライフ行政書士事務所)。NGOで働いたり、フィリピン人支援団体でボランティアしたりした後、行政書士開業。毎日いろいろな国から来たいろいろな人の話を聞いて、「在日外国人」の多様性に、びっくりすることの連続です。

携帯電話通訳事業での中国語通訳

劉曉燕

携帯電話での中国語通訳をしている劉曉燕です。この仕事を引き受けてからすでに一年あまりが経ちました。言葉が不自由な外国人が行政の窓口に来た時にいつでも通訳できるよう、毎日携帯電話を持って待機しています。正直に言いますと、初めのはいつ電話が入ってくるのかわからないので、緊張のあまりストレスを感じていました。しかし毎回通訳した後、何度も「謝謝」「謝謝」と繰り返し言ってもらえるたびに「人の役にたっているやり甲斐のある仕事だ」と思うようになりました。

6月16日、埼玉県多文化共生推進会に出席させて頂きました。「外国人住民も地域社会を支える構成員と位置づけ、日本人と共に社会を担っていく」という話を聞いてから「私に何ができるのか」と自分に問い続けましたが、母語を生かして携帯電話通訳をしていくにつれて日本で暮らす母国の同胞を助けることに充実感が湧いてきました。

日本のますますのグローバル化と共に外国人の人口が急増しています。在住外国人は日常生活の中で様々な問題を抱えています。たとえばビザと在留資格・子育て・入転居・医療・教育・国民健康保険・税金・生活保護などなど…。もっとも困っているのは言葉の壁で、行政の職員とのコミュニケーションがうまくとれない。どんなに助けて欲しいかという現実をしみじみ感じます。その大変さは自分も十分体験してきたのでよくわかります。これからも外国人と行政の間の架け橋として面している課題がたくさんあります。通訳能力の上達には引き続き日本語（敬語・行政業務用語など）の学習はもちろん、日本の制度や自治体の仕組みを知らなければなりません。とにかく外国人にとっても安心できる住みやすい日本を実現するために、ふじみの国際交流センターの皆さんと協力し合って微力を尽くし続けていきたいと思えます。

見送りの三振より 空振りの三振

パート

石井 ナナエ

ダボダボのお腹がちょっとでもへこむように、自転車センターに向かう。

真っ青な空、さわやかな風、今日はまさにサイクリング日和。どこからともなく金木犀の甘い匂いが飛び込んできた。外国人支援に本気で取り組んでくれる仲間に来て、好きなことができて、健康でいられることを心から幸せだと思う。「そんなに忙しく時間に追われる生活をしていると体がボロボロになってしまう。年をとって本当に好きなことがしたい時に何もできなくなるから」と心配してくれる人もいるが、私にとってふじみの国際交流センターでの活動が大好きなのだからしかたない。

福沢諭吉さんの言葉に「学問の要は活用にあるのみ」とあるが、センターの活動はまさにそんな気がする。高卒の私の学問といったら諭吉先生の万分の一にも満たないが、学校で習ったこと、社会に出て覚えたこと、センターの活動を通して知り得たことをフル活用してセンターで活動している気がする。

先日も「再婚した日本人男性がとても良い人なので、母国から子供を呼び寄せたい。今まで面倒を見てくれた母は高齢だし、他に頼る人がいないんです。何と

か息子と一緒に暮らす道はないでしょうか」と中国人の女性が相談にみえた。「大丈夫、日本人配偶者の在留資格を持っている母親の子供なら、定住者ビザですぐ入国できます。定住者だから17歳を過ぎても日本で暮らせます。ただし在留期間は母親に殉ずるわけですから日本人の旦那さんを大切に、親子3人でいつまでも仲良く暮らしてください」と話す。彼女のうれしそうな顔。「ここに来てよかった」と安堵の涙を流す。「配偶者ビザを持っている人の子供は、未成年で未婚の場合、定住者ビザで入国出来る」という情報は、前日の「外国人生活相談研修会」で習ってきたばかり。習ったことがすぐ役に立つのだから新しいことを覚えるのが楽しくて仕方ない。

朝八時に孫を保育園に送り出すと、センターに行きたくてたまらなくなる。

「ちょっと待って、家でやらなければいけないことがまだあるでしょ」と自分に言い聞かせて九時に家を出る。自分の好きな事やりがいのある事に早めに出会えて本当によかった。

『FICEC 通信』

携帯電話通訳事業に関連したPDF の情報誌

『FICEC 通信』は、携帯電話通訳サービスをご利用いただいている行政機関の担当者の方にお届けしているPDFの情報誌で、毎月、電子メールで送信しています。多文化共生に役立つ様々な情報に加え、通訳者研修の様子、ふじみの国際交流センターへの活動紹介などを掲載しています。

電子メールで配信されるので、パソコン上で読むことが可能になります。また誌面上に他サイトへのリンクを張ることで、クリックすれば最新の詳細情報にアクセスができます。「今、行政担当者の方々がほしい情報は何か？」を念頭に置いて、情報誌の作成を行って

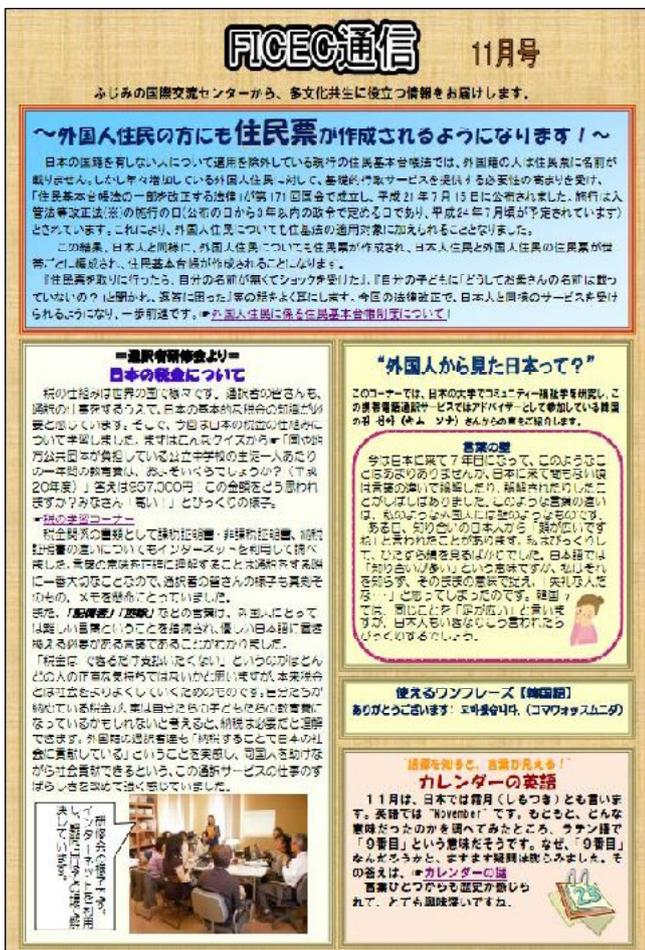
います。

この情報誌を発行してから、「国際結婚(離婚)に関する相談が多いので、情報誌に取り上げてほしい」などといった意見が寄せられました。また、「担当者だけではなく、メールで市役所全体に配信できると、この携帯電話サービスの周知にもつながる」といった嬉しいご意見をいただくこともできました。

まだ、実現にはつながっていませんが、携帯電話通訳サービスの付加価値として、更に内容を充実させていきたいと思えます。

FICEC通信をご覧になりたい方は、ぜひふじみの国際交流センターまでご連絡ください。

たくさんの役立つ情報を掲載した『FICEC 通信』



活動報告

10/3・20・26 携帯通訳事業事務局会議 3 携帯通訳者研修会 6 県立埼玉大学インターンシップ発表会
 4・18 情報誌編集会議・スタッフ会議 14 二市一町国際化推進会議 23 外国人地域デビュー第2回「交通安全教室と多国籍料理交流会」13・27 パソコン教室 28 富士見市関沢小学校国際理解講座 木（毎週）日本語教室 金（毎週）中国語教室 土（毎週）こどもクラブ
 11/1・15 情報誌編集会議・スタッフ会議 7 携帯通訳者研修会 13 富士見市国際交流フォーラム 16 文部科学省「定住外国人の子どもの就学支援事業」シンポジウム 23 外国人地域デビュー第3回「つつじの植樹と交流会」26 理事会 27 東上まちづくりフォーラム「アメリカを知ろう」10・24 パソコン教室 木（毎週）日本語教室 金（毎週）中国語教室 土（毎週）こどもクラブ ホンダ学園学生ボランティア受け入れ・連合埼玉と埼玉労福祉協の推進する「NPO インターンシップ」受け入れ

インフォメーションふじみの

外国籍市民のための生活情報誌を毎月7ヶ国語（中国語・英語・韓国語・ポルトガル語・スペイン語・タガログ語・日本語）に翻訳して発行しています。10月号&11月号の日本語版をお届けします。

イベントのお知らせ お問い合わせはふじみの国際交流センター 049-256-4290

**** 地域力アップ事業 東上まちづくりフォーラム 第2回

1/22 (日) 14:00 ~ 新座ホットプラザ「日本の魅力再発見・外国の文化に触れてみよう」

今回は、欧米系の外国人と一緒に、日本の文化の再発見や、外国の文化に触れる体験を行います。グループ毎にテーマを設けて、一緒におしゃべりを楽しみながら、異文化交流をしてみませんか。簡単な英語が話せれば、誰でも参加できます。担当 山畑

**** DV 講座 (カウンセリング入門・DV 被害者と生活保護と入管法・事例研究・交流会

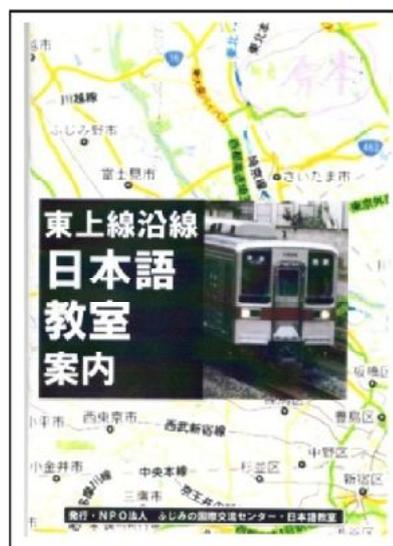
1/21 (土) 2/4 (土) 10時~15時 場所：ふじみ野市うれしの会館 3F

**** 大井社会福祉協議会「国境を越えて！日本の文化と世界の料理」

2/1 (水) 10時~13時 場所：大井中央公民館 フラワーアレンジ(ミニホット)と交流会 費用：無料

2/8 (水) 10時~15時 場所：大井中央公民館 台湾の正月料理と交流会 費用：¥500

「東上線沿線日本語教室案内」ができました。



朝霞駅から東松山駅まで、東上線沿線にある「日本語教室」を集めた案内冊子ができました。多くの外国籍市民がさまざまな教室で日本語を勉強できる機会を持ってもらおうと編集したものです。日本語教室に来た学習者に、日本語指導の方が「時間が有れば近くの教室にもいってみては？」とすすめていただきたく準備いたしました。内容は、教室の住所から勉強に来られる方の外国籍、勉強の方法、お子さんの受け入れなどさまざまな視点から教室の特色が紹介されています。特に教室の場所となる建物は、ランドマークとして訪問できる目安として入れてありますので、学習者にとり分り易いガイドとなっています。最終ページの部分にはふじみの国際交流センター日本語教室が所蔵する図書（書籍）一覧も掲載してありますので、各教室での常備図書として検討いただけるものと期待しております。外国籍市民の皆さまの1日でも早い日本語習得を願っています。

センターの活動をご支援ください
会員・賛助会員・寄付のご案内

活動を担う会員.....正会員

正会員は、スタッフなどとして活動を担っていただく会員です。この会員は、総会などでの議決権をもちます。

年会費：個人1口3,000円、団体1口10,000円

センターを財政的に支える会員.....賛助会員

賛助会員は、センターを財政的に支えていただく会員です。総会等での議決権はありませんが、センターのイベントなどのご案内や、機関誌をお送りいたします。

年会費：個人1口3,000円、団体1口10,000円

会員、賛助会員にはこの機関紙をお送りします

郵便振替口座：00110-0-369511
 口座名：ふじみの国際交流センター

外国人生活相談 無料

月曜日～金曜日 10:00～16:00

電話：049-269-6450

困っている外国人の方がおられたら
 センターをご紹介ください。

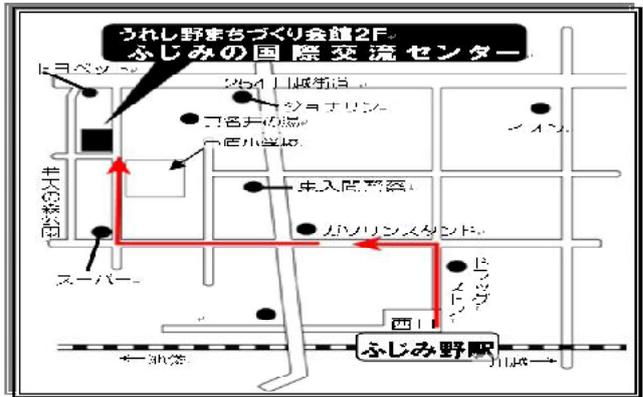
ご寄付をいただいた方々

ご支援ありがとうございます

2010年4月～（50音順・敬称略）

イオン(株)大井店、国際ソロプチミスト埼玉、立麻医院、東京電力労働組合埼玉支部、はんこ村ときわ店、東入間地区遊技業防犯協力会

阿澄康子、安部幸枝、新井順子、荒田光男、有山高司、石井ナナエ、伊藤真弓、岩田仁、上島直美、太田原裕、小野田久美子、小原知子、葛西敦子、梶加寿子、加藤久美子、金子忠弘、神田順子、小熊千寿子、木場ひろみ、駒形一夫、権田貴久子、鈴木譲二、武田和子、田口信一、寺村璧如、鳥居政子、内藤忍、中嶋恵津子、中村禎作、荻原千代子、長谷川雅恵、長谷川正江、浜本由里子、槇原麗子、森田信子、山畑博子



サービス料金表

ふじみの国際交流センターでは、センターの設備や、会員・スタッフの技能により、様々なサービスを行っております。ぜひ、ご利用ください。

| 種別 | 料金 | 対象 |
|------|--------------------------------|------------|
| 印刷機 | マスター（製版代） 1枚100円 印刷代1枚1円 | 市民団体 個人 |
| コピー機 | 1枚10円 | |
| 製本機 | A4判1冊50円 | |
| 折り機 | 無料 | |

| 種別 | 内容 | 料金 |
|-----------------|--|--|
| 講師派遣 | 国際理解教育 | 3,000円 + 交通費 |
| | 外国料理教室 | 5,000円（材料費別途） |
| | 語学教室 | 内容・予算に応じて相談 |
| 企画・運営 | 国際交流・国際理解に関するイベントや研修の企画・運営等 | |
| 編集・出版 ホームページ | 多言語による情報誌・ガイドブック、ホームページの制作 | 1枚5,000円 |
| | 日本語によるチラシデザイン（A4判） | |
| 翻訳 | 英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、タガログ語、タイ語、ロシア語、ベトナム語 | 婚姻関係、ビザ申請、履歴書 A4判1頁、40字・30行 1枚1,000円 |
| | その他の文書 | A4判1頁、40字・20行 1枚3,000円より |
| 通訳 | 英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、タガログ語、タイ語、ロシア語、ベトナム語、シンハラ語 | 半日5,000円 + 交通費 |

特定非営利活動法人ふじみの国際交流センター

〒356-0053 埼玉県ふじみ野市大井2-15-10
 うれし野まちづくり会館2階
 Tel：049-256-4290 Fax：049-256-4291

ボランティア活動に、ご参加ください

ふじみの国際交流センターでは、日本語指導をはじめ、外国籍市民との交流・手助けをするボランティアを募っています。ぜひ、電話またはホームページから、お気軽にご連絡ください。